



『あふれでたのは やさしさだった (小社刊)』の作家・寮美千子さんが描く、
在日二世のおばあさんの聞き書き小説。



なっちゃんの花園

寮美千子 著

◆判型：新書版 268P ◆定価：本体1,200円＋税
◆ISBN：978-4-908443-58-9

日本生まれ、日本育ち。幼少期に終戦を迎え、平和になったはずの日本でなっちゃんは過酷な人生を歩きました。

国籍の違いからいじめを受け小学校中退、勉強の機会が失われ、54歳の時に夜間中学に通い始めるまでは読み書きも出来ませんでした。そしてそこで韓国と日本の歴史を学び、なぜ今自分が日本にいるのかをようやく知ります。

親の決めた結婚相手、夫の不倫、逃げた先はゴミ埋めたて地に住む義母のもと。極貧の生活の中見出した活路すら突然現れた夫にくじかれますが、こんな事は序章に過ぎません。それでもなっちゃんは自らを鼓舞し、強く生きます。

朝鮮人というだけで差別を受け、たくさん泣いて、辛い思いもしたけれど「今が一番幸せ」となっちゃんは言います。必死で駆け抜けてきた人生を描いたノンフィクションです。

寮美千子の好評既刊

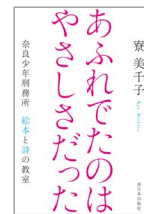
『あふれでたのはやさしさだった』の舞台、奈良少年刑務所の写真集。



写真集美しい刑務所
明治の名煉瓦建築
奈良少年刑務所

●写真：上條道夫
●B5判132P●本体1,800円
●ISBN：
978-4-908443-01-5

7刷突破！



**あふれでたのは
やさしさだった**
奈良少年刑務所
絵本と詩の教室

●新書判228P●本体1,000円
●ISBN：
978-4-908443-28-2

彼らは、加害者である前に被害者だった。絵本を演じる、詩を作って話をする、たったそれだけで心の鎧が溶けて、表情が豊かになる。少年刑務所での心の授業の記録。

FAX でのご注文 (受注センター)

FAX：06-6310-7057
(TEL：06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202
HP：www.jimotonohon.com/

●発行/西日本出版社

寮美千子 プロフィール

1955年東京生まれ。2005年、泉鏡花文学賞受賞を機に翌年奈良に転居。2007年より奈良少年刑務所で「物語の教室」を担当。その成果を『空が青いから白をえらんだのです』（新潮文庫）と、続編『世界はもっと美しくなる 奈良少年刑務所詩集』（ロクリン社）として上梓。

書店名(番線)	既刊補充	なっちゃんの花園	注文数(注文書)	ご担当
				様
		■著者：寮美千子 ■判型：新書版 268P ■本体価格：1,200円＋税 ■ISBN 978-4-908443-58-9	冊	日付
		大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057		
				■発売/西日本出版社

書店名(番線)	既刊補充	あふれでたのはやさしさだった 奈良少年刑務所 絵本と詩の教室 ●ISBN：978-4-908443-28-2	注文数(注文書)	ご担当
				様
		写真集 美しい刑務所 明治の名煉瓦建築 奈良少年刑務所 ●ISBN：978-4-908443-01-5	冊	日付
		大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057		
				■発売/西日本出版社